

三河・静岡 西部

先見 明言

大宝産業社長

山崎 憲雄氏

(やまさき・のりお)

オーエスジー(OSG)の100%子会社・大宝産業(本社豊川市上長山町手取8の24、電話05333・93・5311)は、OSGの切削工具の卸売りなどを担う商社。三河地方や静岡県遠州地方をテリトリーとしている。豊川に本社を置くOSGのおひざ元で、地域深耕、地域内シェアの拡大をねらう。山崎憲雄社長に足元の業況や今後の経営戦略について聞いた。

「2012年11月期の実績は。売上高は11年11月期比でみると10%増の

11億円と堅調に推移した。3期連続の増収増益だった。とりわけ前半はエコカー補助金な

ニーズ把握、省力化策を提案

を背景に自動車業界をばすことができた。売で貢献したのが、直販ツプを図る。入札などの生産活動が回復した。上高構成比でみると、部門だ。得意先の設備の際、勝因、敗因を精ことなどで、トップ、工具販売店向けの卸売投資が回復したこと。査し次に生かすようなエンドミルなどの切削り部門が70%、直販部で、自動化・省力化を取り組みを強化した工具の販売を順調に伸門が26%。特に増収面目的にした機械、設備い。また、OSG10



「シェアアップをめざす」と話す山崎社長

の注文を相次ぎ獲得することができた」
「一足元の課題は。」「販売エリアが限られている卸売り部門でいえば、もう少し緻密な営業戦略を遂行して地域内のシェア

2年後の年 売上高12億円めざす

0%子会社の商社として、顧客のニーズを的確に把握し、迅速にOSGに伝える役割もある。意識的に取り組みたい」
「直販部門についていえば、単に製品の販売にとどまらず、これまで以上にお客さまが困っている自動化、省力化の課題に対して、当社から解決策を提案できるようにしていきたい」
「中期的な目標は。」「15年には創立50周年の節目を迎える。売上高を12億円、営業利益率4%をめざす。現有勢力で年率3%の成長を達成する」